

一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース



2020年4月号

一般社団法人東京高専技術懇談会

新型コロナウイルスのニュースが毎日のように報道され、全世界を恐怖に巻き込んでいます。会員企業のみならずにおかれましても、経済状況が悪化するなか大変な状況におかれているかと推察いたします。さて、遅くなりましたが、秋以降に開催されました事業についてご報告いたします。

1. 信頼性安全技術研究会

令和元年9月25日(水)東京高専を会場として東京都立産業技術研究センター連携グループ「信頼性安全技術研究会」による発表会及び交流会が開催されました。本研究発表会は、平成27年11月に第1回が開催され、今年で4回目を迎えます。

① 見学会

発表会に先立ち新棟「コラボレーション・コモンズ」内の1階ラーニングスペース、2階レンタルスペース、庄司研究室、北折研究室及び3階のはざまる工房を見学しました。

② 発表会

発表に先立ち、信頼性安全技術研究会会長安達健二氏、東京高専新保校長及び東京高専技術懇談会濱田会長よりそれぞれ挨拶が行われました。

【研究発表会】

研究会メンバーからは、楠本化成(株)廣岡知之氏による「製品事故の故障解析技術」と題した発表が行われました。

続いて技術懇談会からは、(株)ニレコ 時田大作氏による「レーザー応用製品開発におけるレーザーの安全上の取り扱いについて」と題した発表が行われました。

休憩を挟んで最後に東京高専物質工学科城石英伸准教授による「燃料電池と水素社会」と題する発表が行われました。

発表会終了後には、会場を移動して、多くの研究会メンバーや技術懇談会会員企業が参加しての交流会が和やかに行われました。

2. 専攻科特別研究発表会

東京高専の教育内容や産学連携の可能性を探る絶好の機会と言われております専攻科特別研究発表会が令和2年1月25日(土)に開催されました。発表会には、技術懇談会会員、東京工業大学及び東京医科歯科大学の先生方、東京高専の在校生、教員等多数の方が参加され、専攻科生による研究成果の発表が行われました。

発表会終了後、本会主催による表彰式と懇親会が生協食堂で行われ、濱田会長から、優秀賞7名に表彰状と図書券が贈呈されました。表彰された7名は以下のとおりです。

機械情報システム工学専攻(3名):

柳田剛志、堀内 陽、瀧島和則

電気電子工学専攻(2名):

北田成祐、川島拓也

物質工学専攻(2名):

小野遼真、福光真人



(受賞を喜ぶ濱田会長と受賞者)

3. 異業種交流会開催

令和2年2月13(木)、異業種交流会を開催いたしました。新たに技術懇談会に入会いただきました企業をはじめとした3社の方による会社紹介及び事業承継等についての講演が行われました。その後、場所を移しての交流会(懇親会)を実施し、活発な意見交換、名刺交換が行われました。

講演者等は、次のとおりです。

第1部 株式会社網屋

伊藤 整一氏

第2部 株式会社石垣

堀家 明洋氏

第3部 株式会社コスモ計器

古瀬 智之氏

4. 匠塾開講

本年度も企業の技術者・経営者を対象とした「匠塾」を開催いたしました。当初予定した4講座の中で以下の2講座について新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながらの開催となりました。

3月4日は機械工学科堤先生による「技術者のためのシーケンス制御機器基礎講座」、3月18・19日には、(株)カイゼンマイスター小森 治氏、藤井和徳氏による「改善リーダー養成講座～トヨタ生産方式の基礎と応用～」を開催し、併せて延べ8名の会員企業のみなさまにご参加いただき、熱心に実習に取り組んでいただきました。今後も、企業技術者に役立つ実践的なテーマを選んで実施する予定で、地域企業の技術者教育の一助となるよう取り組んで参ります。



「技術者のためのシーケンス制御機器基礎講座」受講風景



「改善リーダー養成講座」受講風景



5. 事務局から

東京高専では新年度となり、あらたな1年を迎えました。新型コロナウイルスの影響で3月に予定しておりました社会実装教育フォーラムは中止また、卒業式も規模を縮小しての実施となり、4月からの授業開始も連休明けの5月11日に延期することとなっております。会員企業のみなさまに置かれましても健康に留意され、お過ごしくださいますようお願いいたします。新型コロナの1日も早い終息を期待したいと思います。



<連絡先>

事務局メールアドレス：info@gizyutsucon.com

